

29	ロックンロールを楽しむ～英語で歌おう～
ビジョン	インターナショナルな視点で差別、虐待を乗り越え人類愛をはぐ(Hug !! 抱きしめる)くもう!
ゴール	ロックンロールを中心に米英のポップスを楽しみながらその背景にある被差別民の歴史に対する理解を深める
理由	コックは世界を席卷しているが、多民族国家でない日本で生活している我々は、そのルーツであるロックンロールの持つ、ある意味悲しい歴史になじみがない。
知の成果物	16世紀の植民地政策に始まる、アメリカ、アジアに対する人種差別は文明の衝突として始まったが、ロックンロールは、その衝突が昇華された文化遺産とも呼べることを理解する。
身につく力(目的)	ブルース、アパラチア音楽など、アメリカの移民たちが持ち込んだ音楽が収斂してロックンロールとなっていた。それらを聴きながらアメリカ近現代史の一端を知ることができるとともに、英語のリスニングの力をつけられる。
学習の内容	様々な楽曲を聴いて、音楽の構造、文化的由来などを洞察するとともに、プレスリーに代表される白人によるロックンロールにどう収斂していったか、その社会背景は何か、などを提示し、グループ学習で検証する。そのためには歌詞の英文の理解は欠かせない。さらにビートルズへの影響も考察する。
活動の特徴	教員、学生一体で音素材を持ち寄って楽しみながら、グループ学習を進める。また歌詞にある日常英語を読み、歌ってみることで英語に対する苦手意識を克服する。基本的な英語学習用素材も手に入る?
班主任名	吉田友昭 医学部 生物学
<初回>活動場所	生涯教育研修センター1号館10F 1001
<通常>活動場所	
<雨天時>活動場所	